

全柔連発 21-1069 号

2022 年 3 月 14 日

都道府県柔道連盟（協会）会長 各位

公益財団法人全日本柔道連盟

会 長 山下 泰裕

全国小学生学年別柔道大会について

平素より当連盟の事業にご支援、ご協力を頂きありがとうございます。

さて本年より、全国小学生学年別柔道大会は廃止することと致しました。各位のご理解を頂戴するため、この判断に至った理由を申し述べます。

昨今の状況を鑑みるに、小学生の大会においても行き過ぎた勝利至上主義が散見される所であります。心身の発達途上にあり、事理弁別の能力が十分でない小学生が勝利至上主義に陥ることは、好ましくないものと考えます。

嘉納師範は「勝負は興味のあるものであるから、修行者を誘う手段として用うべきであるが、本当の目的に到達することが主眼でなければならぬ」と述べておられます。また、「将来大いに伸びようと思うものは、目前の勝ち負けに重きをおいてはならぬ」ともされています。

本年 2022 年は、嘉納師範が「精力善用、自他共栄」を骨子とする講道館文化会の綱領を発表されてから丁度 100 年の節目の年に当たります。この際原点に立ち返るため、思い切って当該大会を廃止することにしたものであります。

なお、当該大会が小学生たちの目標となっていたことは事実ですので、改めて参加することを目標にできるようなイベントを開催したいと考えております。その詳細は、追ってご連絡致します。

以上